

馬場直次郎君 皆さん明けましておめでとう／＼ございます。今年も皆様にとっても私にとっても
幸多い年になりますよう。

落合益夫君 今年もよろしくお願いします。

稲田憲治君 おめでとうございます。新しい年、新たな気持、皆様方のご多幸をお祈り申し上げ
ます。

外山晴一君 あけましておめでとうございます。

中條耕二君 1991年今井年度の後半スタートです。おめでとう御座居ます。

吉川吉彦君 梨木建夫君の入会お祝い申し上げます。

大野新吉君 新年明けましてお目出度うございます。また本日新年早々の新入会員大変お目出
た続きでございます。昨日江口さんをお願いして1月20日のブライダルフェア事
のモデルさんを多く選出して下さいました大変有難うございました。今後共宜し
くお願いいたします。

堀川正幸君 新しき年のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

村山誠一君 謹賀新年。

丸山誠一君 今年もよろしく／＼

淵岡茂君 新年明けましておめでとうございます。今年も宜しく願い申し上げます。

山上茂夫君 新年おめでとうございます。

山崎勲君 明けましてお目出度うございます。本年もよろしくお願いします。

小林満君 新年おめでとうございます。今年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

佐藤義英君 本年もよろしく。

芦田義重君 新年おめでとうございます。賀状有難うございました。今年は年賀欠礼させて載
きました。今年もよろしくお願い致します。

山口龍二君 新年あけましておめでとう。今年もよろしくお願い致します。

梨本清一君 本年も良い年でありますように。

樋口金占君 新年お目出とう御座います。沢山の年賀状ありがとう御座いました。欠礼のおわ
びにBOXへ。

笹原勝治君 あけましておめでとうございます。

坂内康男君 会員のみなさんあけましてお目出とうございます。本年もよろしくお願い致しま
す。雪のない正月で喜こんでいましたら休みあけ雪が降り大変です。

本間建雄美君 新年明けましてお目出とうございます。本年も宜しく願い致します。

山本賢君 皆様明けましておめでとうございます。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

石川勝行君 あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

河井増雄君 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

長谷川博一君 あけましておめでとうございます。ロータリアンになってからはじめての新春を新たな気持ちでむかえました。

早川 滝雄君 明けましておめでとうございます。梨木君の入会を記念して。

ロータリー財団：

佐藤啓策君 皆さんあけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。梨木さんの入会を歓迎します。今日は早退させていただきます。

阿部誠一郎君 ニコニコボックスへ皆様よりたくさん入れてもらいましたので財団へ協力。

卓 話： 今井克義君



小学校の5年か6年の頃でした。担任の先生が、ある日私達生徒に質問しました。「君達は何時もマンガ本をたくさんみているだろうが、マンガ本というのは一体どんなマンガいいんだろうか?」。どんなマンガ本がいいんですか?と聞かれたら皆さんならどう答えますか。我々は子供心に考えました。良いマンガ本とは、やはり、勉強に結びつくような教育的なマンガ、あるいは偉人伝のようなマンガではないかと。教室のあちらこちらで手があがりました。トム・ソーヤの冒険、エジソン、ナイチンゲール、小公子。私は、その頃叔父が買ってくれた渡辺華山の生涯をマンガにしていたものを読んでいましたので急いよく手をあげて「渡辺華山」と答えました。先生が少し驚いたような口調で「お、今井君、渡辺華山という名前を知っているのか」。皆んなの視線が一斉に私に集まりました。今の時代であればやった、エイと、右手でV字のサインでもあげたことでしょう。先生はみんなからでてきたマンガの題名を黒板一杯に書き出しました。そして先生はこう言いました。「いいか君達、先生が一番良いと思うマンガはこれだ」。黒板の余白のところに大きく「サザエさん」と書いたのです。我々、生徒はみんな「えっ?」というような怪げんな顔をしました。教室内が少しざわめきました。「マンガというのは、見て楽しいマンガ、ゲラゲラ笑えるマンガ、それが一番だ。マンガで勉強したって仕方ないだろう」。それ以来、私は以前にも増して漫画愛好者になったのです。漫画は何も難しく考える必要などない。読んで楽しく笑えればよいという漫画哲学、私にとって小学校時代の思い出の1つです。皆様の殆んどは、小学校時代漫画は読んだとしても中学位には卒業してしまって文学青年に移行したという方がたくさんいらっしゃるでしょう。私は、漫画に取り付かれたまま、今に至っています。朝、新聞を手にしします。お恥かしながら、まず4コママンガを先にみます。それがちょっと気の効いた、世相を反映したマンガでニヤッと笑えるマンガですと、その日一日気分がいいという、まことに単純な人間です。暇ができるとよく本屋へ行きます。マンガ本のたくさん並んでいる書棚の前で小学生、中学生と一緒に立ち読みです。たださすがに一時間位も立ちながら読んでいと疲れてきます。これで椅子があってコーヒーでもサービスしてくれるような本屋があれば最高だなと思うのですが、笹原さんいかがでしょうか?残念ながら、最近Booksササハラも含めてどこの